

# 球磨工業高校 教務だより 2月号



令和3年(2021年)2月26日発行

## 「段取り力(計画と実行)」

今年度も残すところ1ヵ月となりました。暖くなる日もあり、春の訪れがもうすぐそこといった陽気です。年の初めに立てた目標に向かって努力できていますか? やろうと思っていたことができない、できると思っていたことが終わらない、終わったつもりでも不備があるというのはよくあることです。そんなとき、あなたはどんな気持ちになりますか?

- ① 少しでもできていない自分が許せない。こんな自分が嫌だ。もっと才能や能力があったらなあ。
- ② できない理由は、環境が悪かったからだ・手伝ってもらえなかったからだ・タイミングが悪かったんだ。
- ③ 何でできなかったんだろう? 計画を見直すか・やろうとする量を調整するか・誰かに相談してみようか。

①~③の、どれが一番近いですか? 計画を立てたり、実行したりする場面で、上手くできないことは、誰しもがやることです。①を選んだ人は、何でも簡単にやっつけてのける人がうらやましいと思っていませんか? 簡単にやっているように見えて、実は陰で努力しているのです。できるようなコツを自分で考えたり、誰かにアドバイスをもらったりして、できるための方法を考えては実行し、失敗から学び続けていると、いつかできるようになるのです。

②を選んだ人は、できない理由が間違いなくあったのでしょうか。ところで、その状況を打開するために、あなた自身は何ができますか? 誰かが解決してくれるのを待ちますか? あなたが何もしなかったら周りが気をつかって、できる環境を整えてくれるのでしょうか。できない理由なんて探せばいくらでもあります。まず自分ができることから、1つでも小さなことでも始めてみるのが大切です。考えて実行することで、学びが広がっていくのです。

ということで、③を選んだ人が、計画と実行において、自分で道を切り開いていける考え方を持っています。自分ができることから逃げず、努力を積み重ねることで、自分の才能や能力は開発されていくのです。全部をいつべにできるようになることはありません。できることをひとつずつ増やしていくのです。その積み重ねです。

①や②は“**こちこちマインドセット**”の例で、「人の持っている能力は変わらないし、失敗と思われたくない」という考えです。③は“**しなやかマインドセット**”の例で、「粘り強く取り組み、失敗から学びながら成長していこう」という考えです。自分の性格だからとあきらめず、変わることを恐れず、“**しなやかマインドセット**”を取り入れてみませんか?

## 3月の行事予定表

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
1 卒業式	2 (検)英	3 (服)(短) 【月曜日課】	4	5 SC 面談 作文がイダンス(2年) 進路州Iiテ-ツヨ(1年)	6	7
8 午前:④⑤⑥授業 午後:生徒家庭学習	9 後期(一般)選抜 【終日生徒家庭学習】	10 後期(一般)選抜 【終日生徒家庭学習】 16時まで部活動禁止	11 採点日(生徒家庭学習) 【終日管理棟立入禁止】 13時まで部活動禁止	12 追試(1・2年) ⑥人権教育(1年)	13	14
15 【終日生徒家庭学習】	16 (検)数 合格発表 SC 面談	17 ④⑤⑥授業 午後:キャリア面談	18 ④⑤⑥授業 午後:キャリア面談	19 ④⑤⑥授業 午後:キャリア面談	20 春分の日	21
22 二次募集(面接等) ①②③授業 企業説明会	23 クラスマッチ 教室移動 教科書販売	24 修了式	25 合格者招集 9:00~	26	27	28
29 転・退任式	30	31	1	2	3	4

## 「段取り八分 仕上げ二分」

建築科 松葉 英星

「段取り八分 仕上げ二分」とは業務を実行するにあたって、準備や計画の大切さを表現している言葉です。「仕上げ」は「仕事」と言われることもあります。周到に準備しておけば、実際の作業は比較的楽に納めることができるので、全体の仕事量の大半を準備に当てるのが重要だと言えます。それは単にプログラムを並べただけでは不十分です。各作業の繋がりや人員配置を含む手順に対して、要領良く動けるように配慮することが肝心でしょう。そのためには、その業務の内容をしっかりと把握しておくことが必要です。

私の昔の経験を紹介します。最初の工事で一番下っ端の現場監督として赴任してすぐ、現場事務所の前に砂利を敷くことになりました。面積を拾い、砂利の量を計算し、業者さんに砂利を発注します。2tダンプ一台分だったかと思います。搬入された砂利を設置場所の奥に降ろして貰いました。問題はそれからです。わずか1mほどの砂利ですが、人力で広げるのは、かなりきついものです。土工の職長さんが手伝ってくれながら「ダンプを前に出しながら降ろして貰えば良いんだよ」と教えてくれま

した。段取りというほどのレベルの話ではありませんが、私がもう少し具体的にイメージしておけば、少しは楽に作業を終えたはずですが、やってみなければ分からないことはたくさんあります。最初からできなくても、失敗を積み上げて成長していくのが人の常です。

「すぐすれば、すぐすむ」とは、以前本校にお勤めになっていた坂本ケイ先生に教わった言葉です。やらなければならない事を後回しにしてしまうのはよくあることです。ぎりぎりまで延ばしたからといって、良い成果に繋がることという訳でもありませんし、期限を守れなくて叱られることになりかねません。課題を見つけたら、さっさと片付けてしまうことで身軽になれます。そうすれば、好きなことに時間を使えるし、ちょっとたいへんな作業でも、余裕を持って取り組むことができます。

皆さんも「すぐすれば、すぐすむ」精神で、日々の事を実践してみてください。もし、それがうまくいなくても、やり直すチャンスと時間はまだまだありますよ。

## 計画することは気持ちの整理

建設工学科 古田 英樹

社会人となると、若いうちは課せられた仕事さえすればよいのだが、年齢を重ねるごとに様々な仕事を任せられるようになる。簡単な仕事もあれば、複数の仕事が一時期に集中することもあるし、長期間にわたって進めなければならないものもある。

複数の仕事が一時期に集中したときには、私は、一覧表を作り、優先順位を決めてから仕事に取りかかるようにしている。そして、手間がかかる仕事ほど、一番に取りかかるようにしている。後が楽になるからだ。

また、長期間にわたって進めなければならない仕事の場合には、全体像を把握し、ゴールまでの計画を立てる(計画表を作成する)。過去には、この計画表を作成するだけで1ヶ月以上費やしたこともある。そのおかげで、見通しを立てて余裕を持って仕事に取り組むことができたし、ミスなく着実に進めることができた。なお、作成した書類などには番号(仕事の順番)を振り、計画表に書き込んでいる。また、仕事の過程で生じた課題や他の人からの意見をメモに残すようにしている。こうする

ことで、次年度の改善につなぐことができるし、他の人に仕事を引き継ぐ際にも有効である。

私が中高生の頃、考査や入試のために、得意な科目ばかり勉強して、苦手科目を疎かにしていた。そのため成果を伸ばすことはできなかった。これではいけないと思い、計画表を作成するようになった。得意な科目を中心とした偏った計画表ではあったが、苦手な科目にも取り組めるようになった。また、計画通りにならないことも多々あったが、作り直すことで気持ちを整理することができた。社会人になって、活かせることをしていたのかなと感じる。

私は、期限に追われ、切羽詰まってしまうような仕事はしたくない。仕事は生活の一部なのだから楽しくやりたい。当然ミスもしたくない。できれば楽をしたい。そのためにも、仕事に取り組む前の準備(一覧表や計画表の作成)は有効だと思っている。そう遠くない未来に社会人になる皆さんは、計画的に学校生活を送ることができていますか?